



やさしさと思いやりで笑顔がいっぱい

文責 校長 中島 由広

なわとびをがんばっています

昨日の昼休み、集会委員会主催の「前とびグランプリ」が行われました。ルールはいたってシンプル。「だれが前とびで一番長く跳び続けられるか」です。

低学年の部、中学年の部、高学年の部の3つの部に分かれて、なわとび自慢の子どもたちがその力を競いました。

最初は余裕で跳んでいた子どもたちも、時間が経つにつれ、引っかかりたり、力尽きたりして、ひとり、ふたり、三人と脱落者が増えていきます。最初から一度も引っかかりずに跳び続けている子どもたちへは、「がんばれー。」「まだいける!」などの声援が飛びます。最後の一人になって勝者が決定すると、周りからは惜しめない拍手が送られました。結果は次のとおりです。

【低学年の部】

グランプリ

2-1 K.Y さん



【中学年の部】

グランプリ

3-3 S.M さん



【高学年の部】

グランプリ

6-3 S.H さん



低学年の部第1位のK.Yさんは、小さいころからなわとびが好きで、幼稚園の時、連続で400回以上跳んだことがあるのだそうです。

中学年の部第1位のS.Mさんもなわとびが得意で、これまでに、連続で600回以上跳んだことがあると話してくれました。

高学年の部第1位のS.Hさんは、前とびは得意で、連続1000回以上跳んだことがあるということでした。恐るべし子どものパワーです。

「前とびグランプリ」が終わって運動場から校長室に戻ろうとしていたときに、4年1組のS.Yさんから「校長先生、見てください。」と呼び止められました。S.Yさんは私の目の前で、二重跳び、三重跳び、サイドクロスなど高難度の技を次々と披露してくれました。今回は残念ながら2位だったS.Yさんでしたが、「次の時は1位を目指します!」と力強く宣言してくれました。

いま山里小では、この他に「長縄チャレンジ」に取り組んでいます。これは、学級ごとに目標回数を決めて、その目標達成にチャレンジするというものです。休み時間や体育の時間に長縄をする学級が増えています。

このような取組を通して子どもたちの体力アップに努めていきたいと思っています。